

令和8年第二回定例会一般質問の報告について

報 告 事 項 第 1 号
令和 8 年 第 7 回 定 例 会
8. 7. 1 4 庶 務 課

質問議員			質問		答弁概要	備考	
No.	会派	質問者	項目	要旨			
1	1	都民ファーストの会豊島区議団・国民民主党 細川 正博	7. 区立幼稚園のあり方	(1)	区立幼稚園の減少に対する区の認識について	区立幼稚園は、平成29年度以降、園児数の減少が続いている。区としては、預かり保育や未就園児を対象とした体験教室など、様々な取り組みを進めてきたが、幼稚園の園児数の減少傾向は改善されていない。西巢鴨幼稚園が休園となり、東部における調査・研究の場が失われている状況にあるが、昨年度までの研究成果を全区に普及させるという方針のもと、幼児教育の質の向上に努めている。	指導課長
2				(2)	特別な支援が必要な子供や外国籍の子どもの受入れ体制の検討について	特別な支援が必要な子供や外国籍の子供の受入れについては、区立幼稚園に期待される役割の一つであると認識している。幼児期においては、特別な支援の必要性の有無や国籍の違いにかかわらず、友達との関わりを通して社会性や協調性を育むことが重要であり、集団の中で育ち合うことが、人格形成の基礎を培う上で大きな意義を有するものと考え。区としては、安定した集団活動と教育的効果を確保する観点から、6人以上の集団を確保した上で教育活動を行うことが適切であると考えている。	指導課長
3				(3)	区立幼稚園の次年度以降の園児募集方針と募集増加策の検討について	次年度もすべての幼稚園で園児募集を行う。現在、幼児教育センターと連携して、特別支援教育の充実や小学校との円滑な接続、地域資源を活用した体験活動など、区立幼稚園の強みを活かした教育活動の充実に努めている。としまケーブルテレビにおける広報や区民ひろばへの幼稚園パンフレット等の配置など、保護者への積極的な周知を進めていく。	指導課長
4				(4)	未就園児の実態把握及び幼児教育情報が不足している家庭に対する区立・私立幼稚園への選択肢の周知について	区立・私立幼稚園の選択肢があることを積極的に周知していくことは大切なことであると捉えている。現在も広報紙やホームページ、子育て支援の相談窓口などを通じて広報を行っているが、区立幼稚園3園合同による入園説明会などを実施し、それぞれの園の特色や取組を保護者に直接伝える機会の充実に取り組んでいく。	指導課長
5	2	自由民主党豊島区議団 芳賀 竜朗	3. 未来へ進む教育施策	(1)	今年度スリジエに入級した生徒を含めた在籍状況と出席状況や生徒・保護者の感想などの「具体的な成果」について	1年生5名、2年生5名、3年生8名の計18名が在籍しており、昨年度の出席率は約80%、今年度も5月末時点で80%と、学校に継続して通うことが難しかった生徒が安定して登校できるようになっている。生徒からは「安心して学校に来られるようになった」、保護者からは「スリジエの柔軟な対応や環境調整のおかげで子どもが前向きに学校生活を送れるようになった」といった評価をいただいている。	教育センター所長
6				(2)	スリジエが現在の成果につながった要因の分析について	開設前の丁寧な準備と学校全体で生徒を支える環境づくりが大きいと分析している。設置に当たっては、先行自治体を視察し運営上の工夫や課題についてヒアリングを重ね、環境づくりや教員の選定など、本区の実情に合わせた運営方法を検討してきた。また、西池袋中学校全教職員への説明や研修を行うとともに、通常学級の生徒にも目的や意義について理解を促すなど、学校全体で共通理解を図ってきた。さらに、設置場所や動線をあえて区別せず、同じ学校の一員として安心して過ごせる環境づくりを重視してきた。こうした工夫により、自分らしく学校生活に参加できる土壌が形成されていると考えている。	教育センター所長

質問議員			質問		答弁概要	備考		
No.	会派	質問者	項目	要旨				
7				(3)	スリジエに入級希望があった場合の教育委員会と学校との連携、決定までのプロセスの仕組み、現在の課題と今後の展望に対する教育委員会の見解について	まず教育センター柚子の木教室において、安定して通室できる状態にあるかを確認し、一定期間継続して通室できるようになった段階で、スリジエにおいて2週間程度の体験入級を実施する。 体験中は心理士が観察・記録し、心の状態や適応状況を総合的に確認した上で、在籍校、心理士、スクールソーシャルワーカー、スリジエが情報を共有し、児童生徒にとって最も適切な学びの場になるかを協議し、入級の可否を決定している。 課題として生徒数が昨年度比1.5倍となったため、少人数指導を工夫しているところであり、さらに生徒が増えた際には指導体制の充実が必要である。 展望としてスリジエでの不登校対応のノウハウや子どもたちへの向き合い方などを全小中学校で共有し、各学校における登校支援の一層の充実を図っていく。	教育センター所長	
8				(4)	上池袋図書館以外の区立図書館においても特色ある図書館づくりを推進することについて	豊島区基本構想・基本計画では「新しい図書館像」として「居場所・交流・創造の場」をコンセプトに掲げている。上池袋図書館は、それを具現化した第1号の図書館。また今後改築予定の千早図書館はもとより、既存の図書館でも、各館毎にテーマを充実させるとともに、限られたスペースを有効活用したフロアレイアウトによる座席数の拡大や、学習スペースの設置などにより、新しい図書館のコンセプトの実現に努めていく。	図書館課長	
9	3	維新・無所属の会	入江 あゆみ	1. 不登校児童生徒の保護者支援について	(1)	不登校対策総合計画における不登校児童の保護者を対象とした説明会・懇談会の実施回数や参加者数、満足度等のアウトプット指標のKPI化と定期的な公表について	6月上旬にホームページ上で保護者説明会・相談会の実施回数及び日程を公開し周知した。 不登校の背景や保護者の課題は多様であり、実施回数等の数値のみで事業の効果を測ることは適切ではないため、KPI化は難しいと考えているが、取組の進捗状況を分かりやすく示していくことは重要であることから、保護者説明会・相談会の実施報告や「教育センター活動記録」をホームページに掲載するなどにより進捗状況を公表していく。	教育センター所長
10				(2)	立ち直った児童生徒とともに、不登校経験者の保護者に懇談会等に参画するなど、同じ立場から支えられる体制の構築について	年2回実施している保護者相談会において、不登校支援経験者による講演会や保護者同士が悩みや経験を共有し互いに支え合う場を設定している。また、不登校を経験した児童生徒本人から体験談を聞く機会も設定している。 保護者の方に参画いただく取組としては、民間団体で実施している不登校を経験したお子さんの保護者を講師とした講演会について区として後援を行っており、としま保護者連絡ツールすぐーで周知を図るなど保護者に有益な機会となるよう支援している。 今後も先行事例を参考に保護者を支える仕組みについて研究していく。	教育センター所長	
11				(3)	不登校児童の保護者支援懇談会のオンライン参加、夜間開催、録画のオンデマンド配信の実施及び私立校児童の保護者への周知方法の改善について	オンライン開催については実際に誰が視聴しているか完全に把握することが難しいため慎重な検討が必要である。 録画配信についても参加者の安心感や率直な発言を確保する観点、また動画拡散への懸念もあり難しいと考えている。 夜間開催については今後参加者のニーズや運営体制を踏まえながら実現の可能性について検討していく。 私立学校への周知についてはすでにホームページや広報としまに年間スケジュールを掲載し、必要な情報が届くよう努めている。	教育センター所長	

質問議員			質問		答弁概要	備考	
No.	会派	質問者	項目	要旨			
12				(4)	不登校対策の新規事業の評価指標、評価方法、公表時期を計画書類等で明示することについて	個別の取組については今後の実施状況により、その内容が変わってくる場合もあり、詳細な指標等を現段階で作成・公表することは難しいと考えている。 まずは、事業を実施する際には広く保護者への広報を行い、実施結果についてホームページ等で広く区民に公表するとともに、議会への報告についても適宜行っていく。	教育センター所長
13			3. 学童保育における職員定着と採用方法について	(1)	学童保育に携わる会計年度任用職員の処遇改善、正規職員登用ルートの整備、研修機会の充実などの職員定着と専門性向上の取り組みについて	会計年度任用職員の処遇改善については、人事委員会勧告を受けた毎年度の給与改定のほか、期末・勤勉手当や交通費の支給等、大幅な改善が図られており、職員の意欲向上や人材の確保にもつながっているものと考えている。正規職員への任用については、特別区人事委員会が行う採用試験の受験を積極的に勧奨している。 また、職員の定着を図るため、採用前に子どもスキップの施設見学会を開催し、採用希望者が想定している業務内容とのミスマッチを防ぐとともに、採用後は、OJT研修等による専門性向上支援も行っている。さらに、施設長や管理職による職員面談を積極的に行い、業務上の悩みを解消するとともに、学童指導員から学童指導専門員へのステップアップ勧奨を行う等、職員の育成を図っている。 このように、職員定着および専門性の向上に向けた取組みを進めているが今後も継続的に行っていく。	放課後対策課長
14				(2)	公設公営の学童保育において、補助員を含む全職員をスキマバイトアプリ経由で採用していないことの確認と適切な採用方法を堅持するための今後の方針について	本区の学童クラブでは、子どもたちと直接相対するにふさわしい職員を確保するため、学童指導補助を含むすべての職員について、スキマバイトアプリを使った募集は行っていない。履歴書や資格証明書の写しの提出を求めるとともに、論文による選考や面接による採用を行っている。また、採用後にOJT研修等を行い、職員が安心して継続的に勤務できるよう支援を行っている。今後も引き続き、学童職員として相応しい適切な採用に努めていく。	放課後対策課長
15	4 日本共産党 豊島区議団	小林　ひろみ	1. 暮らしと営業を守る施策について	(4)	国立・私立、フリースクール、インターナショナルスクール等に通っている学齢期及び不登校の子どもに対する給食費相当額の補助について	フリースクールに通う児童・生徒や学校で給食を食べることができない不登校の児童・生徒を対象に給食費の補助を行うには、区立学校とフリースクール等に並行して通うケースや不定期に学校に通う児童・生徒もいるなど課題があると捉えているが、支援を必要とする家庭に必要な支援を届ける視点に立った検討を行っていく。また、国立・私立、インターナショナルスクール等に通う児童生徒への補助は、都から補助制度の要綱が発出されていないため、引き続き、情報収集に努めていく。	学務課長
16				(5)	修学旅行と教材費の無償化について	令和8年度は、世帯の認定基準を引き上げ、支援対象が広がっている。さらに、既存費目の支給額を増額し、23区初となる「学習応援費」を新設するなど、支援の拡大や強化を行っている。今後も、国や東京都の動向を注視するとともに、家庭の状況により教育の機会が損なわれることがないよう支援を届けていく。	学務課長
17			3. 子ども若者の施策について	(2)	子どもの権利条約、子どもの権利に関する条例に沿って大人や社会が子どもや若者一人一人を尊重していくことに対する教育委員会の見解について	教育委員会は、「互いの人格を尊重すること」を教育目標に掲げ、「豊島区子どもの権利に関する条例」に沿って、子どもたち一人一人の権利を守り、大切な存在として尊重している。区立小・中学校では、児童・生徒、保護者に「豊島区子どもの権利に関する条例」の資料を配布し周知している。また、悩みを一人で抱え込まず、周りの大人や友達にSOSを出せるような指導や、アンケートやSCによる面接など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに努めている。さらに、子どもたちが意見を述べたり、他者との対話を通じて考える機会を意図的に設定したりするなど、一人一人を尊重する教育を推進している。	指導課長

質問議員			質問		答弁概要	備考		
No.	会派	質問者	項目	要旨				
18	5	立憲・れいわ・市民の会	西崎 ふうか	4. 不登校支援について	(1)	図書館司書職業体験参加者の感想と取組みに対する評価について	参加者からは「ブックカバーのつけ方や本の並べ方を知ることができて良かったです。」「司書の方のお話を聞いて図書館の仕事に興味を持ちました。」などの感想が寄せられている。区としては本取組は職業に対する理解を深めるだけでなく、社会とのつながりを実感し、自己肯定感やコミュニケーション能力を育む貴重な機会であると評価している。	教育センター所長
19					(2)	図書館司書職業体験の定期的実施について	今年度も中央図書館での司書体験を柚子の木教室の年間計画に位置付けており、2月に実施予定である。今後も児童生徒の感想や職員の経験等も踏まえ、活動内容の工夫や実施回数について検討を重ね、図書館課と密に連携を図りながら定期的に実施していく。	教育センター所長
20					(3)	不登校児童生徒に対する支援の一環として、「豊島の森」での植物管理・樹木医職業体験の実施について	自然環境の保全や維持管理に関する仕事への理解を深める機会として意義のある取組であると考えている。児童生徒の興味・関心や年間の行事予定、教育的効果などを踏まえ、実施について検討していく。	教育センター所長
21					(4)	区民ひろばにおける職業体験の検討について	今年度から区民ひろば要において、不登校児童生徒の居場所づくりが始まるなど、学校だけでなく地域とも連携した不登校対策がスタートしている。まずは区民ひろば要が不登校児童生徒の居場所として機能するよう区民ひろば要との連携を深めるとともに、子どもたちの職業体験につながる取組についても区民ひろば要と協議していく。	教育センター所長
22				23		5. 若年層による市販薬のODについて	(1)	区立小中学校での薬物乱用防止教室の具体的内容について
	(2)	深刻化する若年層の市販薬ODの状況が、薬物乱用防止教室の中で取り扱われているかの現状と今後の方針について	学校では、薬物乱用防止教室において、市販薬を決められた用法や用量を守って正しく使うことや過剰摂取による健康被害などについて取り扱っている。また、体育科及び保健体育科の保健分野においても、薬物の危険性や依存性などとともに、市販の医薬品について用法、用量を守って使うよう発達段階に合わせて指導している。さらに、薬物乱用を始めてしまう要因に自分の心理状態や人間関係があることも学習し、自分を大切にすることや勧められたときは、はっきりと断ることなども指導している。教育委員会としては、今後も若年層の薬物乱用を取り巻く状況を踏まえ、薬物乱用防止教育に係る指導方法の工夫や指導内容の充実について学校に対し指導助言していく。				指導課長	
24	6	立憲民主党	さくま 一生	1. 児童発達支援事業について	(3)	休園している区立幼稚園を活用した柔軟な対応について	休園している区立幼稚園施設の活用については、令和9年度に向け園児募集を実施し、実際の入園状況は年度ごとの応募状況などにより変動するため、継続的かつ安定的な活用を前提とすることは難しいと認識している。その上で、幼児期から障害のある子もない子も共に過ごすことのできる環境づくりについては、国の動向や先進的な取組事例などを踏まえながら研究していく。	指導課長 (区長答弁)

質問議員			質問		答弁概要	備考		
No.	会派	質問者	項目	要旨				
25	7	都民ファーストの会豊島区議団・国民民主党	原田 たかき	1. 子ども・教育施策について	(1)	千川中学校複合施設の改築工事の進捗状況について	現在、地下階の配筋工事が完了し、中間検査を受検する段階となっている。11月頃までは地下階の工事が続き、目立った進捗が無いように見えるが、年明けからはいよいよ地上階の工事が始まり、急ピッチで建設が進んでいく。今後も適切に工程管理を行い、令和10年2学期の開設を目指して、鋭意工事を進めていく。	学校施設課長
26					(2)	千川中学校複合施設の改築完了後の「学び舎ぴいす」活用方法のスケジュールについて	活用に際して必要な修繕等の期間を考慮すると、最短で令和11年度からの活用開始となる見込み。令和10年度当初予算において令和11年度からの活用開始を見据えた予算計上を行う必要があることを踏まえると、遅くとも令和9年度の半ばには活用方法について一定の結論を得る必要があると考えている。	学校施設課長
27					(3)	「学び舎ぴいす」活用検討の初期段階からの地域住民の参画について	既に地域の皆様から要望をいただいております、それらを基に、庁内で検討を進めている。今後、様々な形で意見を伺う機会を設けながら、年内には区としての活用方法の素案を固め、改めて地域の皆様と定期的に意見交換を行っていく。	学校施設課長

令和8年6月29日、7月1日

子ども文教委員会審査案件

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | 第31号議案 | 児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置に関する規約の一部変更について |
| 2 | 第34号議案 | 豊島区立地域文化創造館条例の一部を改正する条例 |
| 3 | 8請願第2号 | 中東情勢による原油・ナフサ等を原料とする建設資材等の価格高騰及び供給不足への対応を求める請願 |
| 4 | 8請願第3号 | 豊島区唯一の公共ボルダリングウォール存続についての請願 |
| 5 | 8陳情第18号 | 教育機関が関与する外部活動の安全確保および中立性の徹底に関する陳情 |
| 6 | 8陳情第19号 | 豊島区内の公立小・中学校における年間のいじめの認知件数を図にしホームページ内の目立つ場所に掲載することを求める陳情 |

(継続審査分)

- | | | |
|----|---------|--|
| 7 | 5陳情第22号 | 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情 |
| 8 | 6陳情第8号 | 離婚後の共同親権制度導入についての陳情 |
| 9 | 6陳情第13号 | いじめ調査委員会「調査報告書」に対する教育委員会の情報開示に関する陳情 |
| 10 | 8陳情第6号 | 豊島区立千早スポーツフィールドにおける騒音基準超過と運営改善に関する陳情 |
| 11 | 8陳情第15号 | 移動図書館の運行を求める陳情 |

令和8年6月29日、7月1日

子ども文教委員会報告事項

- 1 旧池袋保健所仮庁舎の跡地活用について
- 2 多文化キッズサロンの開設について
- 3 令和8年度こどもつながる定期預かり事業の実施状況について
- 4 「豊島区立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」について
- 5 令和8年度 区立幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒数及び学級数について
- 6 令和8年度 移動教室・修学旅行の実施について
- 7 令和7年度教育センター活動記録について